

北海道剣淵高等学校

系列学習・実習紹介



農業国際系列



生活福祉系列



未来のしんる系列



SDGs 地球上の「誰一人取り残さず」に持続可能な社会の創り手となることが求められている今、SDGsを現代的な課題に対応させ、教科の枠を超えて学びに取り入れます。





学校農場の水田を活用したお米の生産（田植え・生育管理・稲刈り(収穫)等）の実習風景



学校農場2.7haの面積で、水田、施設園芸、露地野菜、畑作野菜等の栽培管理を学びます。



1年次生では、全員がカボチャの栽培を通して野菜の生育と栽培管理の基礎を学びます。



農業国際系列の2・3年次生は、農業科目（作物、野菜、草花）の授業で「栽培」を中心に学習を進めます。



実習では、果菜（トマトやメロン）、根菜（ジャガイモ等）、葉菜（キャベツ等）の約40種類の野菜を扱います。



農業国際系列では、それぞれの野菜で、播種（種まき）から育苗、生育管理、収穫、調整、販売までの一連の基礎実習を体験していきます。



トラクタの運転操作や作業機械を取り付けた農業機械の実習風景。



実習で生産した野菜や草花は、学校や各種のイベントに参加して販売実習を行い消費者の手元に届けます。



販売実習では、元気よく農産加工食品や新鮮な野菜を剣淵高校ブランドとして販売します。



加工実習では資格取得とともに実習で生産した農産物でジュースやジャム等の製造方法を学びます。



剣淵特産のスーパーフード「キヌア」の試験栽培や加工食品の開発研究等にも取り組んでいます。



これからの農業技術「スマート農業」も関係団体や企業の協力を得て学習をしていきます。

「SDGs」 持続的な開発目標に沿った農業学習を進めています。



令和3年度から鶏の飼育を開始し、現在では約40羽を超える名古屋コーチン種が学校農場で飼育されています。餌（飼料）には町内の給食センターや道北の漁業組合から出る資源を活用して飼料給与に取り組み、食品ロスへの貢献や循環農業を実践しています。



新たな農業教育に取り組み、その教材開発が評価され、日本農業教育学会から表彰を受けました。

道北の森林資源に着目し、腐葉土の活用、下川町産の木炭、バイオ炭等の活用にも取り組んでいます。



生活福祉系列 編



ベッドメイキング実習

モーニング・ケア実習



爪切り介助

足湯介助

入浴介助

口腔ケア



離床・移乗介助



着脱介助



歩行介助

車いす介助



食事介助



外出支援介助



医療的ケア 経管栄養

喀痰吸引



排泄介助

介護に関する専門的な知識と技術を習得し、
国家資格「介護福祉士」を目指します。



未来のしんろ系列 編

「絵本の里剣淵」で取り組む探究学習「絵本探究」の授業風景。



絵本作家との交流、絵本専門店や剣淵町絵本の館での学習が行われます。



絵本をツールに様々な取り組みが展開されます。





課題研究での探究学習ではエネルギー資源（ソーラーパネル）を製作し、自然エネルギーの学習を実施。



同じく課題研究で淡水魚（川魚）の飼育をはじめ、将来の食糧資源に関わる調査研究にも取り組んでいます。



また、農業国際系列と協力しながら、地域の資源を活用するために、木炭を利用した水の濾過装置の研究や二酸化炭素吸収量の多い植物として注目されている熱帯地域の植物「モリンガ」等の試験栽培などにも取り組んでいます。



東川町観光協会での実習

給食センターでの調理実習

ホテルスタッフの実習

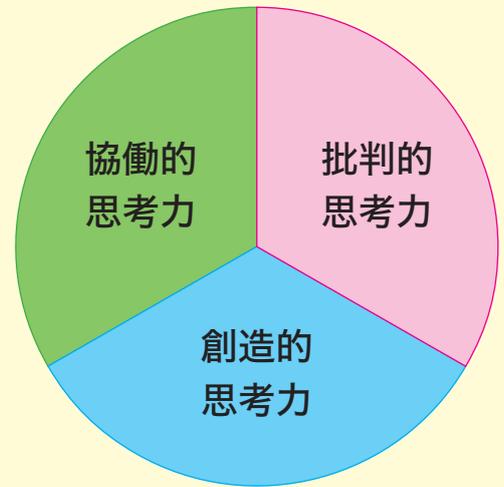
剣淵町役場で実習

2年次生での産業現場実習では、一人一人の進路希望を踏まえて個別の実習先が選定されます。

Benesse(ベネッセ) GPS-Academic(GPS- アカデミック) による 課題解決力の測定・診断の実施 (2・3年次)

測定する項目と形式・実施時間		★は、記述式で測定する項目です。	記述無し版	記述有り版
問題解決の 質と深さを 左右する 思考力	批判的思考力	● 情報を抽出し吟味する ● 論理的に組み立てて表現する ★		
	協働的思考力	● 他者との共通点・違いを理解する ● 社会に参加し人と関わりあう ★	選択式 約45分	選択式約45分+ 記述式約30分
	創造的思考力	● 情報を関連づける・整理する ● 問題もいまだ解決策を生み出す ★		
問題解決に 向かう 姿勢・態度	レジリエンス	● 感情の制御 ● 立ち直りの早さ ● 状況に応じた冷静に対応する		
	リーダーシップ	● 自ら先頭に立つて進める ● 未知のものに挑戦する ● 粘り強くやり抜く	選択式 約10分	選択式 約10分
	コラボレーション	● 相手の立場に立ちあうとする ● 他者と関わりあうとする積極性		
問題解決の力を 高めるための 経験	自己管理	● 挑戦する経験 ● 続ける経験 ● ストレスに対処する経験		
	対人関係	● 多様性を受容する経験 ● 関係性を築く経験 ● 議論する経験	選択式 約5分	選択式 約5分
	計画・実行	● 課題を設定する経験 ● 解決策を立案する経験 ● 実行・検証する経験		
アンケート	学生意識調査	● 【新入生向け】 大学納付費、志望度、教習力認識、大学観 など ● 【在学中向け】 適応状況、大学納付費、満足度、 カリキュラム評価、進学検討、 イメージ変化、授業収容率 など	選択式 約20分	選択式 約20分

※記述有り版は、4～6月、10～1月のみ実施可能です。
※アンケートには、異学オリジナルの設問が15問追加可能です。



GPS-Academic (GPS- アカデミック) による出題例

問題

一般に、電車はパンタグラフという装置により、線路の上部を通っている電線から電気を取り入れている。次の図はある新幹線のパンタグラフである。



このパンタグラフは、ある課題を解決するために、次のようなフクロウの羽の特徴を応用した特殊形状をしている。

フクロウの風切羽にあるノコギリの形に似たギザギザは、空気をうまく逃がすことができるため、空気の抵抗を受けにくい。これにより、フクロウは、獲物に気づかれずに近づくことができる。

解決しようと課題は何だと考えられるか。最も適当なものを次の(A)～(E)のうちから一つ選べ。

- (A) 料金を安くすること
- (B) 騒音を小さくすること
- (C) 多くの人を運べるようにすること
- (D) 乗り心地をよくすること
- (E) 乗り降りをしやすくすること

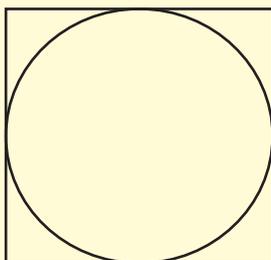


図1

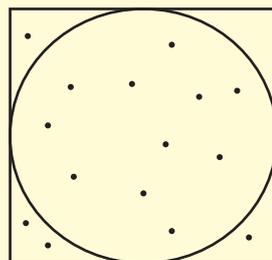


図2

点を400個打ったとき、円の内部に打たれた点の個数に近いものとして最も適当なものを次の(A)～(E)のうちから一つ選べ。

- (A) 160個
- (B) 210個
- (C) 260個
- (D) 310個
- (E) 360個

問題

次の図1のように、正方形の内部に円が接して入っている。この正方形の内部に、図2のように、偏りがないようにいくつもの点を打っていく。

北海道剣淵高等学校



A series of horizontal dashed lines for writing, starting from the top right and extending across the page.



〒 098-0338 北海道上川郡剣淵町仲町 22 番地 1 号
TEL 0165-34-2549 (職員室) 34-2508 (創明寮)
FAX 0165-34-2694